

参考および引用文献 (順不同)

1. 鈴木瑛一 人物叢書『藤田東湖』、吉川弘文館、H.10.1.1
2. 結城千代子・田中幸『探究のあしあと 霧の中の先駆者たち-日本人科学者-』、東京書籍、2005.3
3. 井上勝生 日本の歴史18 『開国と幕末変革』、講談社、2002.5.10
4. 鈴木淳 日本の歴史20 『維新の構想と展開』、講談社、2002.7
5. 粉川幸男『水戸藩の崩壊—天狗党と諸生党—』、至誠堂、1991.9.20
6. 鈴木瑛一『水戸藩学問・教育史の研究』、吉川弘文館、1987.3.10
7. 山川菊栄『覚書 幕末の水戸藩』 引用・岩波文庫(青162-4)、1991.8.8 参考・岩波書店、s49.8.28
8. 茨城地方史研究会編『茨城の歴史 県北編』、茨城新聞社、2002.5.31
9. 羽楽高瀬真卿『古老実歴水戸史談』、東京天賜苑蔵版、中外図書局、M38.9.2.
10. 水戸市史編纂委員会『水戸市史 中巻(四)』、S.57.10.20
11. 水戸市史編纂委員会『水戸市史 中巻(五)』、H.2.3.12
12. 『水府系纂卷四十八』 天和中奉仕之輩略系、佐野卿成編輯 伴暢参訂、筆写
13. 『南梁年祿二十、二十四』 (茨城県史料幕末編Ⅱ 収録、茨城県立歴史館編集、H1.3.18)
14. 『南梁年祿八十五』 (茨城県史料幕末編Ⅲ 収録、茨城県立歴史館編集、H5.3.26)
15. 無名氏『水戸藩党争始末』、M.26.11、可黙居士筆写
16. 『結城寅寿行状録』 (水戸藩風雲録 収録、沢木直虎編、常陽明治記念会、S8.)
17. 武熊武・坂井四郎兵衛『水戸見聞実記—水戸幕末資料—』、歴史図書社、S52.6 復刻
18. 秋山義隆『古文書に親しむ—水戸地方の近世文書から—』、石崎印刷、S58.3.30
19. 関戸正克『水戸城』、歴史図書社、S53.4.25 復刻
20. 名越時正『水戸弘道館大観』、常陸書房、S56.4.5 復刻
21. 瀬谷義彦・鈴木瑛一『流星の如く—幕末維新・水戸藩の栄光と苦境—』、NHK 出版、1998.1.25
22. 山本秋広『水戸藩の点描』、茨城経済社、S31.4.1
23. 宇野俊一他編『日本全史(クロニック・ジャパン)』、講談社、1991.3.15
24. 小泉芳敏「天保14年徳川斉昭の日光御参—安島帯刀の母への手紙から—」  
『郷土文化』第15号、茨城郷土文化研究会編、1974.3、(pp.140-143)
25. 『日光社参と古河藩』平成6年秋の企画展図録、古河歴史博物館、H6.10.8
26. 伊東英雄「近代医学の展開—本間玄調を中心に—」『水戸の洋学』、沼尻源一郎編、柏書房、1975.5.15
27. 水戸市史編纂委員会『水戸市史 中巻(三)』、S51.2.25
28. 瀬谷義彦「天保期水戸藩郷土に関する二、三の問題」  
『茨城史林』創刊号、茨城大学教育学部史学研究室茨城近世史研究会、S47.1.31.、(pp.1-20)
29. 弓削徳介『水戸城』、筑波書林ふるさと文庫、1980.3.15
30. 栗迺平造『水戸藩・幕末・朝廷等実録記』、筑波書林、1998.3.
31. 宮澤正純「結城派郷子の盛衰」『大子町史研究』第4号、大子町史編纂委員会、S61.3.31、(pp.12-23)
32. 有坂隆道『山片蟠桃と大阪の洋学』、創元社、2005.4.10.
33. 『諸生党名簿』水戸史編さん室、自館製本寄贈、製作年不詳
34. 『明治元年絶家調-北越仙台への脱走し幕府の嫌疑を授け水戸に於いて処分を受けたもの-』結城四郎筆写
35. 瀬谷義彦「『水戸藩党争始末』をめぐって-著者「無名氏」とは誰か」  
『水戸地方史の断面』茨城新聞社、2004.11.
36. 明田鉄男『幕末維新全殉難者名鑑①』新人物往来社、S61.6.10
37. 明田鉄男『幕末維新全殉難者名鑑④』新人物往来社、S61.6.10
38. 家臣人名事典編纂委員会『三百藩家臣人名事典2』新人物往来社、S63.2.1
39. 伊東俊太郎『現代科学思想事典』講談社現代新書、S56.12.20
40. 高野澄『烈公水戸斉昭』毎日新聞社、1997.5.25
41. J・ヴィクター・コシュマン『水戸イデオロギー-徳川後期の言説・改革・叛乱-』田尻祐一郎訳、ペリカン社、2000.7.30
42. J・M・ピオット『グラムシの政治思想』石堂清倫訳、現代思想選15 河出書房新社、1982.1.14
43. 小松克己『部落問題読本』明石書房、1994.9.20
44. 『結城宗広』結城宗広事蹟顕彰会研究所、S16.6.9

45. 畑市次郎『幕末水戸藩の苦悩』自治出版社、S54.11.1
46. 『平成十六年度水戸学講座 幕末の水戸藩』常磐神社 H17. 5. 1
47. 鈴木瑛一「水戸藩における蘭学摂取と排耶思想」  
『茨城史林』第3号、茨城近世史研究会、S41. 1.20、(pp.33-60)
48. 吉澤義一『北方領土探検史の新研究-その水戸藩との関わり-』水戸史学選書、水戸史学会、H15. 7.20
49. 金沢春友『水戸天狗黨遺聞』富貴書房、S30. 6.10
50. 江島一「水戸市渡里町長者山荘の諸生党碑について」  
『茨城史林』第21号、茨城地方史研究会編、筑波書林、1997.6、(pp.43-46)
51. 鈴木茂及夫『水戸藩・戊辰戦跡をゆく』暁印書館、S61 2.25
52. 前田香径「水戸藩末史の盲点-日記書簡類の蒐集について-」  
『茨城県史研究』3、茨城県史編さん委員会編集、S40.10、(pp.43-50)
53. 「果てしなき血の抗争-水戸藩内抗争犠牲者結城寅寿の子孫、市野沢寅雄さん」(私のルーツ<20>)茨城新聞、1975
54. 「結城氏の本家と幕府自ら認む-先人二氏は傍系関係-」茨木新聞、S11 年
55. 星新一『だれかさんの悪夢』新潮文庫、H16. 4. 3
56. スタンレー・ミルグラム『服従の心理』岸田秀訳、河出書房新社、1975. 1
57. 吉田俊純『水戸学と明治維新』歴史文化ライブラリー150、吉川弘文館、2003 .3. 1
58. 堀内敬三・井上武士編『日本唱歌集』岩波書店、S33.12.20
59. 清水正健『増補 水戸の文籍』水戸の学風普及会、1971.12
60. 大内健二『茨城書画鑑賞の手引き-東洋の心に見せられて-』上、茨城書林、1992. 6.10
61. 荒木矩『大日本書画名家大鑑 落款印譜編』東京第一書房、1991. 8
62. 大内健二『茨城の画人-ふるさとの画家をたずねて-』上、川又書店、S63
63. リチャード・キャメリアン『洗脳の科学』兼近修身訳、第三書館、1994. 7. 1
64. 『水戸藩国難事件殉難者慰霊祭』水戸藩国難事件殉難者慰霊祭実行委員会編、自家製本、2004. 9.23
65. HP 作成者: 松平技術士事務所・松平忠告、HP 名: 大奥女中孝子の和歌と文書  
URL : <http://homepage3.nifty.com/takanotsuji/takako.htm>
66. 大録義行『水戸朋党の争い-諸生党からみた記録-』筑波書林、1986.12.10